

秘密特許 軍事転用可能な技術は特許出願しても公開されるべきではないと

多くの国が秘密特許という制度を持っているとの記事である。この秘密特許とは何か？記事によると軍事転用が可能な技術と言うことになっていて、出願特許を参考に、他国が軍事利用等を進めれば問題とのことである。確かにそうである。

日本経済新聞

2020年(令和2年) 4月3日

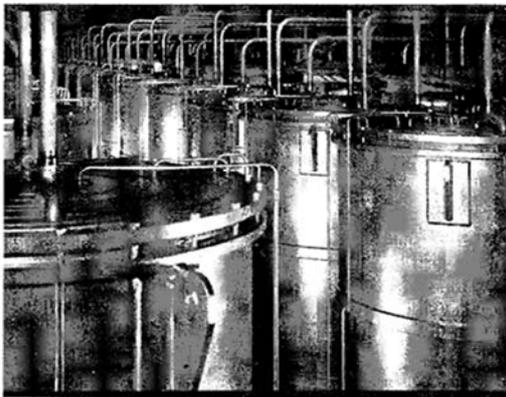
新型コロナウィルスが猛威を振るうなか、安全保障上、重要な技術を巡る課題が浮上している。技術情報の国外流出を防ぐ「秘密特許」と呼ばれる制度が日本では未整備のままとなっている問題だ。先進国はほぼ導入済みで、日本に残された「抜け穴」になるとみられている。

3月中旬、知的財産や安保の専門家らによる「技術安全保障研究会」（座長・東京大学の玉井克哉教授）が「非公開（秘密）特許制度」の導入を求める提言を公表した。米中对立の長期化に対応し、経済安全保障の観点から技術情報を管理していかなくてはならないという問題意識に基づくものだ。

「技術管理の視点から研究開発の成果をどう公開するか、検討する必要がある」。2019年10月に公表された産業構造

■ 安保技術、公開禁止ルール浮上

「秘密特許」で抜け穴防げ



日本のウラン濃縮技術は特許公開されているものも多い

審議会（経済産業相の諮問機関）の安保に関する小委員会の中間報告も、安保上重要な技術の情報について「秘密特許」などで管理する必要性を示していた。

北朝鮮も閲覧可能

特許は通常、出願から18カ月後に特許庁が公開する。日本はウラン濃縮技術の特許も公開しており、北朝鮮などの核開発に転用されるリスクを指

審議会（経済産業相の諮問機関）の安保に関する小委員会の中間報告も、安保上重要な技術の情報について「秘密特許」などで管理する必要性を示していた。

秘密特許制度とは、軍事転用できる技術は特許出願しても情報公開しない仕組みだ。安保の観点から特許情報をコントロールする制度が全く存在しないのは20カ国・地域（G20）でも日本とメキシコだけといわれる。

軍事利用可能な技術と言え、かなり広範囲にわたる。何が秘密特許に属し、何が属さないのか？ その定義も大変である。記事に紹介されているのはウラン濃縮技術であり、確かにこれは原子爆弾の製造へとつながる。日本の特許庁のサイトで、ウラン濃縮に関する出願を調べてみると、昭和47年より50件強の特許出願がなされているが、確かに日本企業の出願のオンパレードである。

米国で出願された秘密特許は理屈上は他国に出願されることはないだろう。米国は決まりを厳格に作り、運用する国である。そんな米国は、いずれは日本にも秘密特許制度の導入を求める時が来るものとするのが自然である。

秘密特許制度に関する記事があったので、その要点を以下に引用した。

間違いだらけの日の丸特許戦略 「技術安全保障」を早急に確立せよ

森 永輔 日経ビジネス副編集長 2018年10月29日

<https://business.nikkei.com/atcl/report/16/082800235/102500010/?P=3>

安全保障を侵す技術を守る非公開特許

玉井：国として技術を管理し、諸外国への流出を防止する目的の法律です。例えば、重要技術に指定された技術に関する情報にはセキュリティー・クリアランス制度によって適格性保証を得た人だけがアクセスできると定める。重要技術の情報は、一定以上のセキュリティー機能を持つサーバーに保存することを義務付ける。米国はもちろん、ドイツ、中国、韓国などが既に運用しています。

非公開特許とはどのような制度ですか。

玉井：米国では次のように運用しています。まず、特許庁が受け付けた特許出願すべてをチェックし、国の安全保障を維持する観点から公開が不適切と思われる案件があれば、国防総省やエネルギー省に回す。担当省庁が公開不適切と判断すると、特許庁は出願を非公開とします。出願企業はこの技術を発表することも許されません。

一方、特許庁はこの出願の審査を進めます。特許に値すると認めた場合は、出願者に通知し、補償金を支払います。特許になっていればライセンス料収入などが見込めるわけですから、それを補填する意味合いです。

発明を公開できないとなると、技術者からの強い反発が予想されます。

玉井：おっしゃるとおりです。私も、このような制度を導入しないで済むなら、それに越したことはないと思います。しかし、それを許さない状況になることも、覚悟せねばならない。せめてドイツくらいの仕組みを整えておかないと、日本企業が先日のファーウェイや ZTE みたいな扱いをされかねない。米中新冷戦はどこまで進むかわからない。少なくとも準備は要る。私たちは、そういう危機感を持っています。